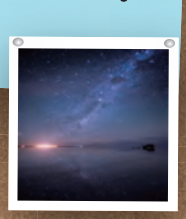
今月の読みどころ

4面 宇宙特集

科学的視点から芸術まで、様々な角度から我々の知らない宇宙のすがたに迫ります。



5面 おいしいごはん特集

新米の季節がやってきた！おいしくごはんを食べるためのヒントが詰まっています。



8面 繋がる特集

手紙、無料通話アプリ、郵便…人と人とを『繋ぐ』ものの魅力を探ります！



青山祭2016

「青だ、進め。」前に前に！



モデルでタレントの鈴木ちなみさん



落語家の三遊亭円楽さん



俳優の藤木直人さん（左）



タレントの武井壮さん



アーティストのAqua Timezさん



モデルの堀田茜さん

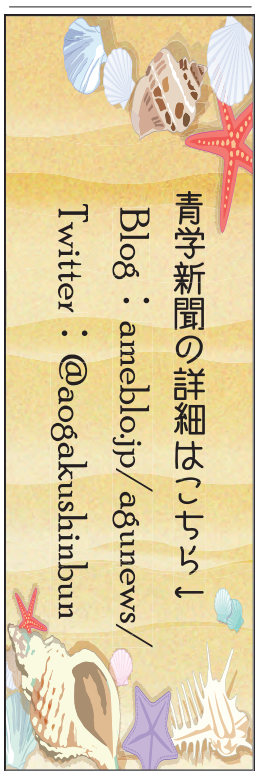
今年度の青山祭は10月28日から10月30日までの合計3日間行われる。今回もトークショーやライブなど注目の企画が盛り沢山だ。この一大イベントを陰で支える青山祭実行委員長の原田和弥君（済3）に見どころについて伺った。

今年度の青山祭のテーマは「青だ、進め。」。信号をモチーフにしており、「青」には青山学院や青学生という意味のほか、若さやフレッシュさという意味も込めた。「信号が変わって人々が歩き出すように、皆が持つ「青さ」を生かして進んでいくイメージになっている」と原田君は語る。ライブゲストは男女5人組のバンド、Aqua Timez（アクアタイムズ）（写真左下）。トークショーゲストにはモデルでタレントの鈴木ちなみさん（写真左上）、落語家の三遊亭円楽さん（写真右上）、俳優の藤木直人さん（写真左中）、タレントの武井壮さん（写真右中）が登場する。ファッションのゲストにはモデルの堀田茜さん（写真右下）を迎える。

今年も青山祭実行委員の熱い思いが詰まった様々な企画が目白押しだ。『青』になるまで、今から待ちきれない。

青山学院大学新聞

発行
青山学院大学
新聞編集委員会
（学友会直属団体）
〒150-8366
東京都渋谷区渋谷4-4-25
青山学院大学7号館230号室
TEL・FAX03(3498)4847
毎月15日発行(2月・8月休刊)





青山学院同窓祭

オール青山で開催間近！！



昨年の同窓祭の様子

第23回青山学院同窓祭（AOYAMA GREEN FESTIVAL）が、9月22日に開催される。同窓祭とは、本学校友会大学部会を中心に、卒業生の手によってつくられる学園祭だ。立ち並ぶ出店や老若男女に向けた多くのイベントに、例年盛り上がりを見せている。実行委員長の古澤浩二さんは、在校生もぜひ同窓祭を訪れてほしいと語る。ただ大学にいるだけでは卒業生との交流はなかなか難しい。通りの出店からイベントまで卒業生自ら表に出る同窓祭は、本学の大先輩と直接交流し将来の手がかりを得る絶好の機会だ。

今年度の同窓祭では、ヴァイオリニスト・高嶋ちさ子さんのスペシャルコンサートを始め、サイバーエージェント代表・藤田晋氏の講演、お餅つきや公開講座など多くの企画が行われる。また今年度初の試みとして、『ナゾトキ×脱出』をテーマにしたミステリーアトラクションが開かれる。1号館3階フロアをほぼ全て用いた先輩方本気のミステリーは、一見の価値ありだ。

交流にイベントに、様々な楽しみ方のある同窓祭。この機会をぜひ積極的に利用したい。

この夏のハイライトを挙げるなら、まず思い付くのがリオ五輪。水泳、体操、バドミントン、卓球等、数多くの競技でメダルを獲得した日本代表の活躍は観る者を熱くした。今も多くの選手がパラリンピックを戦う▼今回の五輪は開催地の政治や治安の問題から不安を抱えていた。東京五輪も期待と不安が入り交じる。もちろんこうした問題を解決してこそ充実した大会になるのだが、選手や観る側は余計な情報をシャットアウトして大会にのめり込みたいのも正直なところ。新たな都知事と国の連携を見守りながら、我々も国民の一人として五輪歓迎ムードを醸成していきたい▼もう一つ忘れてはいけないのが甲子園。全力で白球を追う球児たちに青春を感じる夏の風物詩だ。決勝を戦ったのは栃木の作新学院と南北海道の北海。両校のエースの大車輪の活躍には目を見張るものがあった。まさに大会中に成長しているような印象を受けたのがこの二人である。北海の大西投手の無尽蔵のスタミナとリーダーシップや、作新学院の今井投手の低めに決まるプロ顔負けの快速球。今後の活躍にも期待がかかる▼五輪や甲子園に限らず、難しい感情を抜きにして観る者を感動させてくれるのがスポーツの力。最近は我々と同世代の活躍が目立ち、私も負けてはいられないという気にもさせられる。困難な問題が山積している現代だからこそ、改めてスポーツの魅力を感じたい。

緑字

健康な歯と笑顔のために
藤田歯科医院
診察時間 AM 9:00～11:30 PM 14:00～19:00
休診日 日曜日・祝祭日

矯正治療
マウスピースタイプの新しい矯正治療。「透明」「痛みがない」「取り外し自由」アンチエイジング、顎位修正も。

ホワイトニング
白く美しい歯で、自信にあふれた笑顔を。歯へのダメージの少ない、レーザーによるホワイトニングも行っています。

歯周病治療
歯茎の出血、歯肉の痛み、歯石、口臭…気になる歯周病のいろいろな症状。お気軽に検査から治療まで。

★インプラント
★ボトックス治療
★ヒアルロン酸 …etc

ー青山学院大学ご用達ー
青山学院の学生、教職員、卒業生、IVYCSの職員には割引サービスも行っております
ーご予約・お問い合わせー
TEL 03（3797）0066

●診療科目●
一般歯科・矯正・小児歯科
●アクセス●
東京メトロ「表参道駅」下車 B1・B3出口から徒歩2分
東京都港区南青山 5ー8ー9 青山ビル3F



オープンキャンパス

青学を肌で感じる3日間

2016年度オープンキャンパスが、8月3日から8月5日にかけて青山キャンパスにて行われた。3日間で延べ3万5766人の高校生やその保護者が来場し、大学の雰囲気に触れた。



今年も多くの来場者で賑わった

大学概要・入試概要紹介や入学アドバイザーによる個別進学相談のほか、本学の教員による学部紹介や模擬授業が行われた。また、歓迎礼拝や現役学生ガイドによるキャンパスツアーも行われ、来場者が本学の雰囲気を大いに体感できる3日間となった。

英米文学科では Gregory Strong 教授が『Intercultural Communication』と題した模擬授業を展開。授業は全て英語で行われ、資料と映像を用いながら異文化コミュニケーションの実際を説明した。大教室の席が埋まるほどの受講者が集まり、受講者たちは教授の説明に真剣に耳を傾けた。

学生が主体となって行った企画もある。経営学部の企画『グループワーク体験―経営・マーケティングの世界をのぞいてみよう』では、班分けされた来場者の間に経営学部の学生が入り、「新しいおにぎり（具材）を考えよう！」というテーマのもとグループワークを行った。また、総合文化政策学部は『話そう！現役学部生からのプロポーズ』と題した企画を展開。現役学生が登壇し、パンフレットには載っていない当学部の魅力を熱く語った。来場者は、現役学生の生の声を興味深そうに聞いていた。

また、当日はキャンパスツアーガイドを始め多数の学生ボランティアが活躍した。学生ポータルでの募集を見て学生スタッフに応募したという堀江綾子さん（法2）は「たくさんの人の助けになれて嬉しかった。来年もぜひ参加したい」と笑顔で語った。

3日間、終始賑わいを見せ続けた2016年度オープンキャンパス。来場者の目に、本学はどのように映ったのだろうか。

帰国報告会

留学で得たものここに発表

交換留学経験者による「帰国報告会」が6月30日から7月15日にかけて、17403教室などで計6回行われた。交換留学から帰国した学生の体験発表に、訪れた学生たちは熱心に聞き入っていた。

7月14日の報告会では、サンディエゴ州立大学に留学した大沼夏子さん（国3）とデポー大学に留学した森絵里香さん（国3）が登壇。集まった学生を前に、まず大沼さんが発表を始めた。初めに、サンディエゴ州立大学の特徴を紹介。そして留学の動機や準備について語った後、プロジェクターで多くの写真を映しながら、楽しかったことを振り返った。最後に勉強と遊びの両立など大変だったこと、留学で得た気づきを語り、話を締めた。

続く森さんも同様の流れで発表を行う。留学に向けて IELTS の受験や GPA3.0 以上のキープなど様々なことを心掛けたと明かした。またデポー大学での勉強では、フィルムの現像など本学では取れない授業を履修したことを紹介。学んだことについて「sorry を言うと負けの文化なので心が強くなった」と振り返った。

終了後、会場では話者の二人に個別に質問する学生の姿が多数見られた。留学を考える学生には、留学経験者の生の声は刺激となったようだ。


自身の体験を語る森さん

論説

人生の質を左右する　睡眠の25年

17日間にわたって行われたリオ五輪が盛況のうちに幕を閉じた。日本と現地の時差は約12時間。深夜の生中継観戦で連日寝不足の学生もいたことだろう。ただでさえ日本人は不規則な睡眠傾向に陥りがちである。日本人の睡眠時間は戦後減少し続けており、この傾向は他国と比べても顕著だ。加えて夜型のライフスタイルも一般的になっている。

この一貫した睡眠時間の減少傾向について、本学保健管理センターの副所長を務める稲垣中さんは警鐘を鳴らす。「睡眠時間の減少はうつ病のリスクも増加させる」と話す稲垣さんは、体内時計を狂わせる3つの原因が、睡眠リズムの乱れに繋がっていると語った。3つの原因とは「テレビ、パソコン、スマートフォン」と、いずれもブルーライトを発する電子機器である。

「就寝前にブルーライトを浴びることで、メラトニンという睡眠を促すホルモンの分泌が抑制され、眠りにつくことが困難になる場合がある」。本来であれば毎朝太陽光を浴びることでリセットされるはずの体内時計が、電子機器が発するブルーライトによって不調をきたし、不眠を招く原因となるのだ。体内時計の狂いは、慢性的なものになるほどの裁量で時間の使い方を決めやすく、睡眠リズムが乱れがちな学生の生活において特に注意が必要なものである。昨年実施された広島大学保健管理センターによる学生を対象とした調査では、約6割の学生が睡眠時間の不足や睡眠の質への不満を感じており、医学的な相談が必要な睡眠障害の疑いがある学生が7.8％にのぼるとされている。

睡眠障害の少なくとも一部は、ネット社会の弊害とも言うべき現代病かもしれない。そしてこれは、自分の25年ほどが睡眠時間となる。これだけ長い時間を費やす生活習慣だからこそ、その質を高めることは人生の質の向上に繋がると重要となる。また、今後も続いていく電子機器との上手な付き合い方を考えることも大切だ。就寝の2時間前からはブルーライトを浴びないようにするのが理想だが、まずはディスプレイの明るさを調節するところから始めてみても良いかもしれない。長い目で見た健康のために、一度自らの睡眠を見直してみてはいかがだろうか。

1日の3分の1を睡眠に充てると考えると、実に人生の25年ほどが睡眠時間となる。これだけ長い時間を費やす生活習慣だからこそ、その質を高めることは人生の質の向上に繋がると重要となる。また、今後も続いていく電子機器との上手な付き合い方を考えることも大切だ。就寝の2時間前からはブルーライトを浴びないようにするのが理想だが、まずはディスプレイの明るさを調節するところから始めてみても良いかもしれない。長い目で見た健康のために、一度自らの睡眠を見直してみてはいかがだろうか。

毎日決まった時間に寝起きすることや、起床時に太陽光を浴びることなど、良い習慣を身に付けることが心身の健康を保持する上で重要となる。また、今後も続いていく電子機器との上手な付き合い方を考えることも大切だ。就寝の2時間前からはブルーライトを浴びないようにするのが理想だが、まずはディスプレイの明るさを調節するところから始めてみても良いかもしれない。長い目で見た健康のために、一度自らの睡眠を見直してみてはいかがだろうか。

（鈴木梨恵）

青山学院購買会

パーカー、Tシャツで気軽なおしゃれを

「青学パーカー」といえば知っている学生も多いのではないか。そんなパーカーをはじめとする本学オリジナルのアパレル商品について㈱アイビー・シー・エスの永田健一さんと小沼往博さんに話を伺った。

購買会で販売されるアパレル商品は主にパーカーとTシャツだ。パーカーは、薄手の生地でできた春夏向けのものと裏起毛の秋冬向けのものがあり、形はジップ式とそうでないものの2種類。ネイビーや黒、グレーといった定番色の人気が根強いが、箱根駅伝の影響か本学のイメージカラーであるグリーンも人気が出ている。Tシャツはパーカーと同じデザインで、オープンキャンパス限定のパステルカラーも人気を博した。

パーカーは月により多少変化するが、7月には100枚ほど売れたそうだ。特に青山祭が近くなると購入する学生が増え、1日に50枚ほど売れて品切れを起こすほどだったという。価格の手ごろさと洗練されたデザインで、実は他大学の学生にも人気が高い。

気軽に着られるのがパーカーの利点だという。たまには気軽なおしゃれを楽しんではどうだろうか。

珈琲待夢

湯を沸かすほどの熱い愛

監督・脚本：中野量太
主演：宮沢りえ

幸野家は銭湯「幸の湯」を営んでいたが、父が1年前に出奔し休業状態になっていた。明るく気丈な母・双葉（宮沢りえ）はパートをしながら娘を育てていたが、突然勤め先で倒れ、医師から「余命わずか」という宣告を受ける。その日から彼女は絶対にやっておくべきことを決め、実行していく。母の行動により家族は再び集まり、ぶつかりあいながらも絆を強めていく。そして家族は、究極の愛を込めて母を葬ることを決意する――。

全編にわたり家族の愛と驚きにあふれた作品。母への愛が込められた思いがけないラストは必見だ。


©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」制作委員会
10月29日（土）新宿バルト9ほか全国ロードショー
atsui-ai.com



募集要項

小中学部【小3▶中3】 ESC 難関高校受験科【中1▶中3】	日給5,046円～ 18:40～22:30の勤務。1コマ40分授業を3コマ担当。 ※地域によって金額が異なります。詳細は説明会にてご確認ください。
中学受験科【小2▶小6】	日給6,396円～ 17:00～21:00の勤務。1コマ80分授業を2コマ担当。
大学受験科【高1▶高3】	日給7,921円～ 18:10～22:30の勤務。1コマ80分授業を2コマ担当。
個別指導セレクト【小3▶高3】	授業時給1,000円（その他時給920円）

応募資格　大学生以上・未経験者・Wワーク・平日のみ・1教科のみOK！
勤務地　神奈川・東京・千葉・埼玉 全322校
待遇　交通費支給・昇給あり・充実の研修制度あり

42nd SINCE 1974 RINKAI SEMINAR
神奈川・東京・千葉・埼玉に322校
1都3県を結ぶ臨海ネットワーク
臨海セミナー
人事部 採用課
☎0120-330-610
www.beit-r.com　バイトR 臨海 検索
同時受付中!／2017年度新卒採用／既卒正社員

YAMANO BIG BAND JAZZ CONTEST

生きている音楽で入賞果たす

『第47回YAMANO BIG BAND JAZZ CONTEST』が8月13、14日に大宮ソニックシティ大ホールで行われた。本学からはロイヤルサウンズジャズオーケストラが出場し、第7位である特別賞を受賞した。



真剣な表情で練習に臨むメンバーたち

今年で39回目の出場となる本学。コンサートマスターの小山晋吾君（営3）は、今年は特に下級生が多く、固定概念にとらわれないメンバーだと語る。「コピーではなく、自分たちで理解し表現する音楽が強み。絶対に入賞、できれば5位以内を目指したい」と、大会への意気込みを露わにした。

全国から集った団体が、それぞれ渾身の演奏を披露する中、本学の演奏は力強いイントロで幕を開ける。1曲目『Invitation』はエネルギッシュなラテンジャズだ。圧巻のピアノソロからの盛り上がりに、会場のボルテージも高まってゆく。2曲目の『Subway』は打って変わって幻想的な雰囲気に。鐘の音のような印象的な音色や、電子楽器を駆使した独特の世界観が観客を魅了する。そこから畳み掛けるように続く3曲目『Reza』の、メタル調に仕上げられたクールな音色が響き渡った。まったく違う表情を見せてゆく音楽たちは、瞬く間に会場の雰囲気を作り変えてゆく。楽しげにビートを刻むメンバーたちに、会場中が熱気に包まれ、本学の演奏は大きな拍手で幕を閉じた。

審査員の1人であり、サックスフォン奏者の本田雅人氏は「皆でサウンドを楽しんでいる。音楽も音量も全てのバランスがとてもよく、気持ちよく聞こえた」と講評。今後への期待を込めたコメントを送った。

2日目の結果発表、本学は7位の特別賞を受賞。また同団体から1名が、優秀ソリスト賞に輝いた。目標には一歩届かないながらも、昨年の14位から大きく躍進した結果に。来年以降の演奏にも期待が高まるばかりである。

SHANTI SHANTI

仲間とつなぐ ボランティアの輪

「GV（海外住居建築活動）」を軸に、東北支援やスリランカ支援等、様々な活動をしている本学SHANTI SHANTI。今回は、この夏ベトナムチームでチームリーダーを務めた小林杏月紗さん（済3）に、その活動を伺った。

今期ベトナムチームが発足したのは、6月上旬頃。それから2カ月あまり準備を重ね、8月17日から9月1日までの2週間、現地でのGVに参加してきた。GVは、住居建築など実際のボランティア活動に励む『ワーク』と、観光を通してその国の歴史や文化を知る『CA』の2つの側面から成り立っている。

今回のワークでは、現地のワーカーの方の指導の下、セメント作りやレンガ積み等、家の土台となる部分を一から作り上げた。また、現地の人々との交流や観光を通して、ベトナム戦争を始めとしたこの国の歴史に思いを馳せたという。


一つひとつレンガを積む

小林さんはチームリーダー地で小さな不安を皆が抱えを務める上で「不慣れなているそれを受け取るのが大変だった」と振り返る。一方で「2週間ずっと一緒にいると、嫌なところもひっくるめて相手の姿が見えてくる。いろんな仲間と、辛いことや楽しいことを共有できたのが何よりの収穫」と、活動の魅力を語った。

幅広く活動するSHANTI SHANTI。その活動は、世界のことだけでなく自分や仲間を深く理解するきっかけとなるものだろう。

おすすめの本

23分間の奇跡

ジェームズ・クラベル



担任のワーデン先生が泣いている。新しい先生が教室に来て、居場所がなくなったみたいだった。先生が可哀想だ。それに、なんだか怖かった。

綺麗で若い、知らない国の先生は、僕らに優しく話しかけてきた。朝に教室ですることを聞かれたから、「こっきにちゅうせいをちかう」って教えてあげた。そしたら今度は、先生からいろんなことを教えてくれた。ちゅうせいをちかうこと、旗のこと、僕らのお父さんやお母さんが考えていること、それから――。

僕らは皆、新しい先生が好きになっていた。先生の言うことをよく聞いて、頑張って勉強しようと思った。

敗戦後最初の授業、23分間の出来事――。 （文）

大樹の年輪

第9回 平澤典男教授



ひらさわ・のりお

1950年生まれ
一橋大学経済学部卒業
同大学大学院修士課程・博士課程
一橋大学経済学部助手
青山学院大学経済学部専任講師、助教授、教授
2006 経済学部教授
2012 青山学院大学副学長
2015 地球社会共生学部学部長
--- 主な著書 ---
『マクロ経済学基礎理論講義』（有斐閣）
『マクロ経済学』（八千代出版）
『チャートで学ぶ経済学』（有斐閣）


本学への思い入れは深い

現在、地球社会共生学部の学部長を務める平澤教授。本学に就任して今年で36年目となる平澤教授は、本学の節目節目で活躍し、尽力した人物である。

学生時代から活動的だったという平澤教授。中学時代にはブラスバンド部、大学では体育会ヨット部に所属し、卒業後もテニスやウインドサーフィンなど、様々なスポーツに挑戦してきたという。

そんな平澤教授は、本学の発展のために熱い思いを抱いている。経済学部学科主任に就任後は、教養課程と専門課程、または学部間の垣根を越えた教養教育を目指した改革の一端を担い、現在の青山スタンダード科目制度成立に貢献。経済学部学部長に就任すると、学部の価値を高める様々な取り組みを行う。中でも2008年の現代経済デザイン学科（現デ）設立、2009年の創部60周年記念事業が注目される。また、相模原キャンパスから青山キャンパスへ人文社会系一、二次生の移転計画では、17号館建築や教室配置のシミュレーションを行うなど、計画の中枢を担った。

相模原キャンパスに新たに学部を新設する考えが生まれると、これまで培ってきた経験を活かし学部新設に尽力する。こうして開設されたのが地球社会共生学部だ。来るべきアジアの時代に備えて、一人ひとりが日本を飛び出し、世界中の人々と共に働き生きることができる人材育成をコンセプトとするこの学部は、留学を必須とし、徹底した英語授業、現地でのフィールドワーク、途上国・新興国で役立つ社会科学を学べるといった特徴を持つ。

「その時々に与えられた立場で一生懸命頑張ることで次の道が開けてきた」「その過程で多くの素晴らしい教員、職員と出会うことができたことに感謝している」と語る平澤教授。今後も学部や本学の発展に貢献してくれることだろう。

Music Box Society

花言葉と歌で届けるメッセージ

Music Box Society Circle Live 2016 summer『flower』が9月13日、青山学院アスタジオで開かれた。創立4年目を迎えたアカペラサークルMusic Box Society（MBS）にとって初のサークルライブ。今夏の努力の成果が花開いた。

今回のライブのテーマは『flower』。とある花屋を訪ねてくる様々な人を描いた影絵風の映像作品を挟みながら、それぞれの花言葉に沿った楽曲を披露した。まずは大人数で『フラワー』を歌い、オープニングを飾る。映像を挟んだ後、1組目YYが、「恋の芽生え」が花言葉であるポピーになぞらえて『Darling』『GO FOR IT!』の2曲を歌う。男女混声のアカペラで、恋の始まりのワクワク感を見事に演じた。

特に盛り上がりを見せたのは休憩後、5組目の（総3）は「ほっとしたというより寂しい」と一言。次回以降の開催は決まっていないが、「MBSとして毎年1回はやっていきたい」と意欲をのぞかせた。


柔らかなハーモニーに包まれる

大学新聞社は就職活動に取り組む
大学生を応援しています。

グローバル化が進展するいま、新卒者に求められる能力は変わってきています。
そうした社会の変化に注目し、大学生の就職活動を応援すべく
『就活支援ジャーナル』は創刊しました。
第一線で活躍する企業人の声や優良成長企業の紹介など、
就活を上手に進めるヒントや情報を満載しています。

大学新聞社 http://daigakushinbun.com
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1668 FAX 03-5925-1669



宇宙特集

班員
戸越麻友　佐藤静
島田拓哉　本田俊平
今津彩花

「宇宙を感動する」新感覚ミュージアム

都内には、色々な視点から宇宙を楽しめる場所がある。それが『宇宙ミュージアム TeNQ』だ。2014年、東京ドームシティ内に、『宇宙を感動する』をコンセプトにオープンした。今回は内部の様子と宇宙の魅力をご紹介する。

エントランスを抜けると、そこはもう異空間。『トンネル0』を通って『はじまりの部屋』に入る。ここでは人々が宇宙に馳せる思いの「記憶と記録」をプロジェクションマッピングの映像で見ることができる。

上映後は『シアター宙（ソラ）』へ。部屋に入ってすぐ、床面の巨大円形スクリーンに目を奪われるだろう。このスクリーンを囲み、覗き込むようにして、実際に宇宙から見た地球の映像や美しい星空の映像を鑑賞する。足元に広がる宇宙の神秘は、まさに圧巻だ。



現実と宇宙の要素が融合するエントランス

続く『サイエンス』エリアには、ガラス張りのリサーチセンター（東京大学総合研究博物館 TeNQ 分室）を設置。火星に関する研究など最新の研究を目の前で見ることができる。

株式会社東京ドーム・ミュージアム部部長の片柳龍毅さんは当館について「来館者自らの発見によって宇宙を感じてほしい」と語る。そのため『シアター宙（ソラ）』などの映像には字幕や解説がほぼないそうだ。片柳さんにとって宇宙の魅力は「未知のことが多いのに、身近に見上げられる点」。一人ひとりが色々な視点で見ているのが面白いという。

これまで『宇宙兄弟展』『宇宙のしごと人―JAXAと仲間たち』など多彩な企画を行ってきたTeNQ。現在は2周年特別企画展として、映画「君の名は。」×TeNQ『新海誠が描く宙（ソラ）展』が7月1日から11月6日まで開催されている。今後の展望について片柳さんは「何をするかは未定だが、宇宙を楽しく感じてもらうため、色々なことに挑戦していきたい」と力強く語った。宇宙開発の進歩と共にTeNQもその発展を続けていくだろう。


宇宙人と記念撮影もできる

地球上で宇宙食

今回ご紹介する宇宙食は、チョコレート味のパンと、たこやき。まずは㈱パン・アキモトのパン（648円）。これは若田光一宇宙飛行士と共にディスカバリー号に乗ったものである。缶を開けると出てきたのは予想に反したふわふわのパンだった。日本、アメリカ、中国、台湾の4カ国で特許を取得している長期保存可能な製法で作られている。保存食として周知の乾パンに代えて、宇宙食のパンを非常食として家に置いておくのもおすすめだ。

次は㈱ビー・シー・シーのたこやき（540円）。これは宇宙飛行士の食用に供されていないものの、フリーズドライ製法で製造されているものだ。フリーズドライ製法とは、食品を真空度状態、温度0℃以下に置き、氷となった水分を溶かさず直接蒸発させることである。素材の栄養成分をあまり損なわないこの製法は、宇宙食のそれとして重宝されている。開封後、そのまま口にしてみると、まるでスナック菓子のようにサクサクした食感を楽しめた。



たこやき（左）、パン（右）

これらは国立科学博物館やJAXAなどで購入可能だ。ぜひ一度ご賞味あれ。

見て感じる宇宙



六本木ヒルズ森タワー内にある森美術館で開催されている『宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ』は、連日多くの人で賑わっている。4つのセクションを通して様々な芸術作品から宇宙を見ることができ、幅広い人が楽しめる空間だ。

『人は宇宙をどう見てきたか?』このセクションでは、曼荼羅や竹取物語絵巻、ガリレオの天文学手稿など国により様々である歴史的な宇宙観の移り変わりを知ることができる。次の『宇宙という時空間』では、ブラックホールや多元宇宙を表現したものなど最新の宇宙論による多数の美術作品に魅了されるだろう。

さらに『新しい生命観―宇宙人はいるのか?』では、様々な宇宙人像や江戸時代のUFO伝説といわれているうつろ舟の蛮女、最先端の遺伝子工学など未知なるものに焦点を当てており、ワクワクするセクションとなっている。最後の『宇宙旅行と人間の未来』では私たち人間がこれからどう宇宙と関わっていくのか、月面住居や火星住居のモデルといったこれまでの研究から考えられた未来についての見解が紹介されている。

『宇宙と芸術展』は、2017年1月9日まで開催され、開館時間は10時から22時（火曜日のみ17時まで）。宇宙や美術に興味がある人だけでなく、歴史や宗教、SFや最新技術に興味がある人はぜひ行ってその魅力を体感してほしい。


トムサックス作『ザ・クローラー』

そうだJAXAに行こう

宇宙航空研究開発機構JAXAは2003年に宇宙科学研究所、航空宇宙技術研究所、宇宙開発事業団が統合して誕生した。「宇宙と空を活かし、安全で豊かな社会を実現する」という経営理念を定め、宇宙事業の開発と利用をしている。

日本各地に施設が点在する中、今回は相模原キャンパスの見学ツアーを取材した。同キャンパスでは構造機能試験や飛翔機能試験、地球外物質研究などを行い新たな技術を先進開発している。さらに、大学院教育など次世代の育成も行っており、また全国の大学の共同利用システムも担うとともに、世界各国からの研究者を受け入れる宇宙科学の拠点となっている。

このツアーでは相模原キャンパスで開発されたものを展示物や模型とともに紹介した。特に小惑星探査機の「はやぶさ」については詳しく説明。この探査機が小惑星イトカワに行った目的は、地球外から地球にある物質と同じ物質の収集と、惑星の重力を利用し制御するスイングバイとイオンエンジンの使用の2つだと語る。さらに2020年に発射予定の「はやぶさ2号」についても述べる職員。様々なアクシデントがあるも中帰還した「はやぶさ」の問題点を洗い直し小惑星リュウグウに向けて発射すると意気込んでいた。また日本のロケットの歴史コーナーや日本のロケットの集大成であるM－Vロケットの実物大模型、ロケット発射の音響体験などもある。

相模原キャンパスは見学ツアー以外にも予約不要の一般公開が年中無休で行われているので行ってみてはいかがだろうか。


実物大のM–Vロケットの模型

地球外生命体　存在の有無は

「広大な宇宙に人間以外の生命体はいるのだろうか」とどれほどの人が疑問を抱いたか。しかし人類は最新技術を駆使し未知の領域に足を踏み入れている。

我々が想像する地球外生命体は、SF映画に出てくる人型エイリアンや、不気味な生命体など様々だが一般的な「生命」の定義は以下の4つである。

まず外界との境界を持つこと、次に自らの複製（子孫）をつくること、代謝すること、最後に進化する可能性を持つこと。これらに深く関わっているのがタンパク質であり、それを構成するアミノ酸こそが生命として存在するための鍵だと言われている。アミノ酸は、構造を手のひらに見立て右手型、左手型に分けられ、地球上の生命は左手型のみでできている。NASAに所属する学者の論文によると南極大陸、オーストラリアに落下した隕石を調査したところ、検出されたアミノ酸の多くは左手型だったという。この結果から生命の起源は宇宙にあるのではという議論が飛び交った。さらに地球外生命体の存在の可能性が示唆されることとなった。

先人たちが想い続け、ロマンとして築き上げた地球外生命体の謎。謎は謎のままであり続けるからこそロマンと言うのかもしれない。しかしそれを解明しようとする探求心に意義があり、それは人類の大きな進歩へと導くはずだ。

第32回オール青山ハンドベルコンサート

日時：2016年9月22日（木・祝）
13：00開場　13：30開演（入場無料）

曲目：Voluntary 他

主催：青山学院宗教センター

場所：高等部ＰＳ講堂
渋谷駅から徒歩12分、表参道駅から徒歩5分

出演：青山学院初等部、中等部、高等部、大学
高等部OBOG各ハンドベルクワイア

～お問合せ～
青山学院宗教センター内
〒150-8366　渋谷区渋谷4-4-25
TEL 03-3409-6537

おいしいごはん特集

班員
喜多 京香
佐藤 静
土田 桃子
西野 園美
早﨑 智香

意外と知らない お米の種類

日本人の主食に欠かせないお米。ひとくくりに「お米」とは言っても、その種類や品種は多様である。

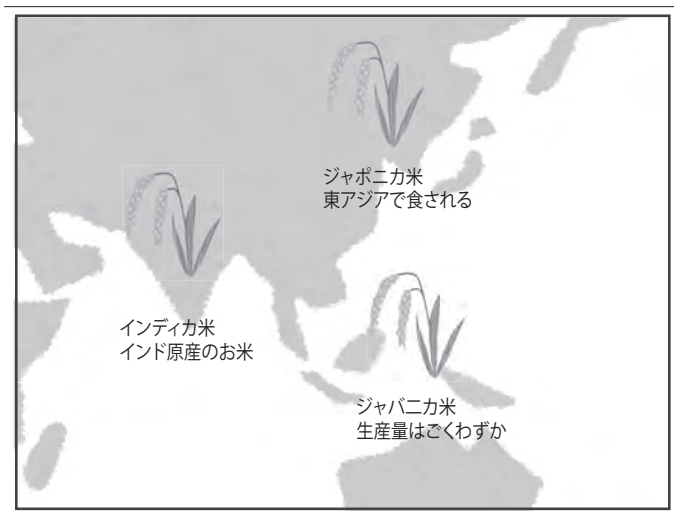
我々が普段食べているお米は、含まれているでんぷん質の量によって「うるち米」と「もち米」に分けられる。このうち日本人が主食としているのは、粘り気の少ないうるち米である。

日本では多くの品種が栽培されており、今やその数は300を超えている。土地の気候や風土に合わせた米の品種改良は常に行われていて、その研究に終わりはない。これから先、今食べているものとは全く異なる品種が出てくる可能性もあるだろう。

販売方法も2種類ある。一つの種類をそのまま販売するか、何種類かのお米を混ぜて販売するか。前者は「銘柄米」または「ブランド米」と呼ばれ、我々がよく知る「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」がこれにあたる。後者は「ブレンド米」と呼ばれ、品種同士の長所と短所が噛み合い、安価でおいしく食べられる。

そして我々が普段食べているジャポニカ米の他に、インディカ米もある。これは1993年の米の不作の際、日本政府が「タイ米」として輸入したことで知られている。煮ることでおいしく食べられるのだそう。

普段何気なく口にしているお米。食感や香りを楽しみながら、一度食べ比べてみてはいかがだろうか。



象印マホービン（株）
炊飯ジャーの新たな挑戦へ

お米といえば、日本人に欠かせないもの。象印マホービン株式会社は炊飯ジャーにこだわり、数々の製品を世に生み出してきた。

そんな象印が新たに開発したのが高級炊飯ジャー「極め羽釜」シリーズだ。美味しさはもちろん、使いやすさにも徹底的にこだわった本製品のプロジェクトリーダーを務めたのが後藤譲さんだ。「まずメンバーで目標を共有することから始めた。すると、現実との相違点も明確になった」と述べる。そして、客観的な「美味しさ」の基準は評判の良いお店と考え、何軒も食べ歩きをした。その中で出会った一軒が大阪・堺市にある定食屋だった。徹底的にご飯の炊き方を調べた結果、浅い釜で熱を素早く均等に伝えるという構造を発見。だが、この構造を炊飯ジャーに生かす上で、象印が売りにしていた「真空釜」が欠点になるという困難にも直面し、プロジェクトは難航した。試作と炊飯を繰り返し、一年半の歳月を経て遂に「極め羽釜」シリーズは誕生した。

続いて象印は内釜の素材にも注目し、かまどの原点ともいえる鉄、中でも「南部鉄器」に焦点を当てた。電化製品の求める高い水準をクリアするために試行錯誤したことによって実現可能にし、業界初となる鉄製の羽釜を開発した。

商品開発に必要な姿勢とは何か、後藤さんはこう語る。「今、美味しいと思う最高の機能を商品に盛り込むためには考えを出し惜しみしてはならない。常に新製品に全てを注ぎ込むことが必要だ。」美味しいご飯を求めて進化し続ける象印から今後も目が離せない。


開発の工夫を語る後藤さん

日本炊飯協会 安心と安全を届ける



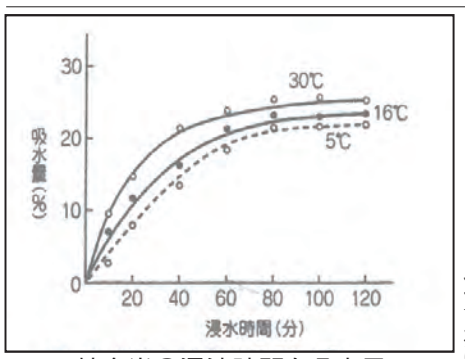
（公社）日本炊飯協会は、衛生管理レベルの向上、美味しいご飯の研究、米消費拡大を主要なテーマとして掲げ、炊飯事業を盛り上げる活動を展開している。

炊飯製品の様に消費期限の短い食品には、必須の、NASAで開発された衛生管理手法であるHACCPの普及。また、広く一般の方を対象に「ごはんソムリエ認定事業」を行っている。ご飯に関して幅広く知識を習得し、ご飯の美味しさを再認識していただくよう務めているのだ。

専務理事の三橋昌幸さんは、自動炊飯器ではやってくれない大切なポイントがあると話す。まず、米と水の量は、炊き具合に大きく影響を及ぼすので、正確に計量したい。次に、炊き上がり後すぐにご飯をほぐすことは重要で、少なくとも15分以内にはほぐしてほしいと言う。ご飯の食味に与える影響は極めて大きい。

炊飯では吸水時間の確保も重要だが、炊飯器の通常モードでは、最初に水温を上げ吸水させる工程を10分ほど取っている。左上のグラフのように、吸水は最初の30分で急速に進み、約2時間で飽和状態になる。米に充分吸水させていればもはや吸水は不要で、早炊きモードで美味しく炊けるのだ。

日本人の主食であるお米。私たちが当たり前のように食べているご飯だからこそ、掘り下げれば掘り下げるほど面白い。



精白米の浸漬時間と吸水量

食のセレクトショップ アコメヤトウキョウ

日本人の伝統的な食文化「和食」。その中心となっている「お米」に焦点を当てたライフスタイルショップ、アコメヤトウキョウを訪ね、AKOMEYA事業部マーケティングチームの八木彩さんと、物販担当マネージャー兼店長補佐の吉澤敏正さんに話を伺った。

アコメヤトウキョウでは現在、約20種類以上の選りすぐりのお米から自分に合ったお米を探すことができる。他にもその周りの食品、調理道具、食器や生活雑貨など、厳選された品々を幅広く扱っている。

お米の選び方について吉澤さんは、「自分の好みや食べ方に合わせてお米の種類や精米具合を選ぶことが大切」と話す。一口にお米と言っても、土地や農家の違い、精米具合などによって全く違ったお米が生まれるそうだ。また体験を通して食や道具の魅力を発見してもらうために、食べ比べなどの体験イベントを開催したり、併設しているAKOMEYA厨房で、店内で販売されている食品や道具を使用した料理を提供したりしている。

最後に二人は「当たり前だからこそまだ知らないことがあるはず。お店に来て、日本人の原点であるお米についてもっと知ってもらいたい」とお米への情熱を語った。お米を通して和食を見直す、良い機会になるかもしれない。


こだわりのお米が並ぶ

手軽に作れる米料理を編集委員が作ってみた
キノコとカボチャの簡単☆チーズリゾット



材料（2人分）
・かぼちゃ 1/10個　・ぶなしめじ 50g
・ベーコン 3枚　・ごはん お茶碗2杯程度
・お水 400cc　・とろけるスライスチーズ 3枚
・顆粒コンソメ 小2
→かぼちゃは短冊切り、ベーコンは千切りにしておく。


①水400ccにかぼちゃ、ベーコン、しめじを入れ、かぼちゃが柔らかくなるまで加熱。

②かぼちゃが柔らかくなってきたらアクをとり、コンソメを入れる。

③かぼちゃをお玉や菜箸などで潰す。（半分程度の大きさになるイメージで）

④ご飯を入れる。その後、3分間混ぜながら加熱を続ける。

⑤3分後、とろけるスライスチーズを乗せて軽く混ぜると・・・・

完成★



マイナビ インターンシップEXPO
10/29 SAT
同時開催
マイナビ 業界研究EXPO
入場無料 | 私服参加 | 全学年対象
会場 東京ビッグサイト
時間 12:00～17:00
※本イベントは、就職活動・採用を目的としたイベントではなく、インターンシップ参加を目的としたイベントです
イベント詳細はこちらから
マイナビ2018 検索
インターンシップ利用率 No.1※
※就職活動に関するアンケート（2016年4月･調査委託先:楽天リサーチ株式会社）
マイナビ2018

第306号 2016年9月15日（木） 青山学院大学新聞 特集 6

ゼミ特集 2016

班員　本田俊平　佐藤佳音　田中葉瑚　島田拓哉
今津彩花　山口　諒　戸越麻友　土田桃子

【昨年度演習者数・合格者数一覧】

《国際政治経済学部 2016年度「演習ⅠA・Ⅰ B」募集人数・最終合格者数一覧 》

部門	担当者名	募集人数	最終合格者数
国際政治	青井 千由紀	7	7
	阿部 達也	7	0
	大芝 亮	7	12
	押村 高	7	6
	菊池 努	7	11
	小島 敏郎	7	8
	土山 實男	7	2
	羽場 久美子	7	8
	山影 進	7	9
	林 載桓	7	6
	倉松 中	7	8
	武田 興欣	7	7
	和田 洋典	7	7
国際経済	内田 達也	6	2
	内山 融英	6	10
	大野 耕彦	6	11
	原村 健	6	0
	加治佐 敬	6	6
	木村 光彦	6	8
	竹田 憲史	6	6
	友原 章典	6	6
	中川 浩貴	6	5
	本田 重美	6	2
	服坂 ひとみ	5	8
	藤田 芳吉	6	8
	瀬尾 佳美	6	1
国際コミュニケーション	EVANOFF, R. J.	6	9
	PODALKO, P.	6	2
	井川 肇	6	3
	池井 尚子	6	6
	狩野 良規	6	7
	猿橋 順子	6	9
	末田 清子	6	9
	田崎 勝也	6	7
	田辺 正美	6	5
	陳 順宏	6	4
	渡邊 千秋	6	7
	勝又 恵理子	6	7
	岩井 千明	6	7
	榊原 正幸	6	5

経営学部 2016年度経営演習Ⅰ募集人数・最終合格者数

担当者名	募集人数	最終合格者数（一次＋二次・三次）
東 伸一	12	7
荒木 万寿夫	12	15
上枝 正幸	12	13
潮上 二郎	12	15
大道 千穂	12	13
小野 譲司	12	10
鹿島 浩之	12	12
亀坂 安紀子	12	13
磯 由紀子	12	12
久保田 進彦	12	8
五味 備大郎	12	5
佐藤 靖	12	15
佐藤 亨	12	15
塩澤 友規	12	13
島田 淳二	12	2
高橋 郁夫	12	18
高松 朋史	12	18
竹田 賢	12	16
田中 正郎	12	12
DUFF, B. R.	12	17
玉木 欽也	12	21
土橋 治子	12	15
永井 忠孝	12	2
中内 基博	12	14
中邨 良樹	12	13
芳賀 康浩	12	12
長谷川 信	12	14
福井 武弘	12	1
三村 優美子	12	18
宮崎 純一	12	15
矢澤 憲一	12	7
安田 洋史	12	12
矢内 一利	12	10
山下 裕企	12	15
山下 勝	12	10
山本 寛	12	14
尹 志偉	12	12
計	444	454

青山キャンパスのゼミの仕組み

この時期になると大学生がそろそろ考えなくてはならないことがある。選択通称ゼミ）についてだ。今回は青山キャンパス所属学部のゼミについて学科別に選考方法、選考時期、履修時期を調査した。

まず文学部英米文学科は、志望理由のみで選考するゼミが多いが、一部面接が課されるゼミもあるという。選考時期は2・3年次の冬で、履修時期は3・4年次だ。次にフランス文学科は、1・2・3年次の冬の予備登録期間に第3希望までの志望理由を提出する。2年生のゼミは2年生のみで構成されているのに対し、3・4年生は合同でゼミを行うという。そして日本文学科は、1・2年の3月に第3希望までのゼミと志望理由を提出する。履修時期は2・3年次で、合同でゼミを行う。続いて史学科の場合は、1年次の冬に4つのコースに分かれる。2年次になると各コース内の冬で、履修時期は3・4年次だ。次にフランス文学科は、1・2・3年次の冬の予備登録期間に第3希望までの志望理由を提出する。2年生のゼミは2年生のみで構成されているのに対し、3・4年生は合同でゼミを行うという。そして日本文学科は、1・2年の3月に第3希望までのゼミと志望理由を提出する。履修時期は2・3年次で、合同でゼミを行う。続いて史学科の場合は、1年次の冬に4つのコースに分かれる。2年次になると各コース内の冬で、履修時期は3・4年次だ。次に心理学科は、2年生の冬に自分が研究したいテーマや具体的な内容と、第8希望までのゼミを提出する。履修時期は3・4年次だ。

最後に総合文化政策学部の総合文化政策学科のゼミは、2年次必修の「文化基礎演習」と3年次の「卒業演習」から構成されている。また、それとは別の「ラボ」という授業が展開されていることは、総合文化政策学部の特色となっている。

学部によって、選考スケジュールが異なるので、しっかり確認をしましょう！（右参照）

相模原キャンパスのゼミの仕組み

キャンパスや学部によって履修時期や選考方法は様々である。ここでは相模原キャンパスの3つの学部のゼミについて紹介する。

理工学部は学科によって履修時期が異なる。科学・生命科学科、機械創造工学科、経営システム工学科、情報テクノロジー学科は3・4年次だが、物理・数理学科、電気電子工学科は4年次に履修することになっている。選考方法も実力テストや学年末テスト、GPAや担当教授の授業成績など、学科やゼミによって大きく変わってくる。

また社会情報学部のゼミは3・4年次に履修する。昨年は面接による選考が多かったようだ。

地球社会共生学部の選考方法はレポートで、2年生の6月半ばに選考が行われる。履修時期は3・4年次であり、留学が必須な関係上他の学部に比べて選考時期と履修時期の間隔が長いことにも注意が必要だ。2015年4月に開設したこの学部は2017年度からゼミが新設される。活動内容などは今後の動向に注目したいところである。

ゼミによっては、説明会や見学会への参加が必須ところや、担当教授のプレゼンテーションを行い、最終的に企業の方に評価をしてもらうイベントがある。毎回20人程、先輩後輩も仲が良く、明るい雰囲気だという。

履修時期や選考方法は企業説明会や選考スケジュールが異なるので、しっかり確認をしましょう！（右参照）

国際政治経済学部 中川ゼミ 原田真由 ゼミ長

国際政治経済学部の中川ゼミは、主に国際経済分野においてディスカッションを通して研究を行っている。卒業論文の研究は3年生から始める。

―ゼミでの研究内容は

例年本ゼミでは、教授が選んだ国際経済に関する文献の中から興味がある分野を絞る。今年度前期は「アメリカの貯蓄不足の原因」、「だまされないための統計（笑語）」、「環境税」を取り上げた。担当者の発表の後、ディスカッションで理解を深めていく形式で学んでいる。また、国際情勢に関する記事について発表を行う「ニュースレポート」の取り組みも毎週行っている。卒業論文の研究は3年生から始める。

―ゼミの雰囲気は

様々な趣味を持った明るい学生が多い。研究はメリハリをつけて行っているが、教授が優しく解説が分かりやすいため、楽しい時間を過ごすことができる。私自身公開ゼミの時に中川ゼミの雰囲気に惹かれて、それらがゼミ選択のきっかけにもなった。

―ゼミ選択の際に気を付けたことは

学生生活の中で自分がゼミにどのくらい重点を置くか考えること。私はサークル活動も大切にしたかったため、その点を考慮した。また私はコミュニケーション学科で経済の知識はほぼ無かったので、自分の好きなことが学べるということを重視して選択した。

―どのような学生にこのゼミに入ってほしいか

本ゼミの良いところは学生の仲の良さ。今後も自分の意見をきちんと言える人や明るい人にこのゼミに入って欲しいと思っている。

経営学部 高松朋史 准教授

高松朋史准教授のゼミでは、『現代企業マネジメント問題研究』をテーマとしている。人の興味を引くような世の中の出来事を入り口にして、企業戦略について考えていくことがこのゼミの特徴だ。

前期では、まず班ごとに分かれて興味のあるニュースを選び議論を行う。何が原因で現在どんなことが起きているのか、そしてそれは企業にどのような影響を与えるのかを追及する。一見企業にはあまり関係のなさそうなニュースでも、影響を及ぼしていることがあるという。また、ビジネス雑誌記事を用いたグループディスカッションや企業に関連する書籍に基づく個人プレゼンテーションを行い、その内容に対し自分はどう思うのか意見を交わし合うことに取り組む。

前期はその他に、他大学との合同ゼミを行っている。知らない人と交流するコミュニケーション能力を養うには絶好の機会だ。

後期は企業の方を招いたり、会社を実際に訪れたりして計5回ほどのプレゼンテーションを行い、最終的に企業の方に評価をしてもらうイベントがある。毎回20人程、先輩後輩も仲が良く、明るい雰囲気だという。

履修時期や選考方法は企業説明会や選考スケジュールが異なるので、しっかり確認をしましょう！（右参照）

経済学部 永山のどか 准教授

永山のどか准教授のゼミのテーマは西洋経済史だ。相対的で多様な意見を取り入れられるため、経済史の本を二冊使い、毎年交互に入れ変えペアで作ったレポートを発表させている。狙いは文章力と情報収集力の向上、そして論点を見極めることだ。さらに読書の習慣をつけるため、授業の最初に課題で読んだ本から小テストを出している。

永山准教授は工業化やそれに付随する社会問題は歴史的に見て西洋の方が日本より早く生じたと考える。そこで日本の問題と比較しながら、これを分析し、発生の原因や解決方法を模索している。これらの力も学生に身につけてほしいと准教授は熱弁する。

また本ゼミは学生が主体となり催し物を企画する。夏合宿では行き先を経済史に結びつけたテーマで発表を行うなど、行く場所に関しても深く知ることができるようになっている。

さらに、本ゼミでは3年から卒業論文の準備を始めるなど、卒業論文にも力を入れている。これまでの卒業論文は西洋の国をテーマとしているが、中にはテーマパークをメインとした学生もいたようだ。本ゼミでは、西洋と結びつけながら経済史の論点と自分の考えが繋がるならテーマは自由である。

永山准教授は「当ゼミでは、地方出身者や大学院を目指す人など様々な人を歓迎する。また資料や統計などの分析をするので、物事を思慮深く考え発言する力が養えるのでは」と語る。ゼミ活動を通し、様々な力を培えるようだ。准教授が事故するドイツや歴史に興味がある学生には検討してほしい。

国際政治経済学部 小島ゼミ 高瀬晴太 ゼミ長

「環境政策」などを中心に学ぶ国際政治経済学部、小島敏郎教授のゼミ生たち。今回はそのゼミ長、高瀬晴太君（国4）に話を伺った。

―ゼミでの勉強内容は

「エネルギー政策から考える日本の社会構造の問題点」をテーマに学んでいる。しかし、広く問題意識を持つべく、このテーマだけに囚われることなく、様々なジャンルの本を読み込む。また、雑談や教授からの話を交えながらプレゼンテーション進めるため、淡々とした授業ではない。さらに、座学だけでなく、環境関連のイベントの企画・運営など課外活動も積極的に行っている。

―ゼミ生から見た教授は

一見するだけでは優しそうなお方という印象かもしれない。だが実はとてもエネルギッシュ。

―いつから環境政策に興味を持ち始めたのか

私たちの大学受験時は、丁度、世論が原発の賛否で真っ二つに割れている時期だった。それがきっかけで関心を持つようになった。

―ゼミ生に求められるは

教授はよく「本当にそうなのか」と一度立ち止まって見つめ直すことが大切だと話している。また、真に本を読み込んでいくトレーニングを行う。従ってゼミではそのような力を高めていくことが求められる。

―ゼミに参加して身に付いたことは

2つの力を鍛えることができたと思っている。それは日本の電力業界に関係する様々な事情や仕組みなどのハード力と、「一度疑ってみる力」「読書力」などのソフト力。自分の興味があるゼミや学ぶから、こそ付いた力かもしれない。

国際政治経済学部 内田達也 教授

内田達也教授のゼミでは、『社会・組織・私の問題』の経済分析」というテーマで研究を行っている。社会や組織、私の問題は必ず互いに接点を持ち、『国際問題』などの過が違うのことに思われる問題が、実は自分たちとは近い問題なのだとする教授は考える。現在所属している学生は15人と少人数だが、積極的に研究を行っている。

授業前半は個人論文のため各自が行っている研究をプレゼンし、議論する。

授業前半は個人論文のため各自が行っている研究をプレゼンし、議論する。

論文のテーマは、『福袋の経済学』から『なぜフィンランドは外国人にまで無料で教育を提供するのか』までと多岐に渡る。各自が興味を持ったテーマに対し、経済学的にアプローチする。

授業後半は全体プロジェクトを進める。このプロジェクトではゼミ生が選んだ二つの社会課題に対して、経済学的な面とデザイン的な面から分析・解決していく。本ゼミでは学生主体のグループ・ユニットで活動することを重視している。

求める学生像について内田教授は「人と違うことをやりたい人に来てもらいたい。チームで活動していくので色々な人にいてほしいと語る。また、『学生のうちに何かを達成してほしいと考えているので、それに対して意欲のある人に来てもらいたい」と続けた。

内田教授は「大学時代に、しっかり自分の研究をしてほしい」と言う。やりたいことは沢山あるだろうが、ゼミのように皆で協力し研究する経験は特に貴重なものとなるだろう。

国際政治経済学部 原田真由 ゼミ長

国際政治経済学部の中川ゼミは、主に国際経済分野においてディスカッションを通して研究を行っている。卒業論文の研究は3年生から始める。

―ゼミでの研究内容は

例年本ゼミでは、教授が選んだ国際経済に関する文献の中から興味がある分野を絞る。今年度前期は「アメリカの貯蓄不足の原因」、「だまされないための統計（笑語）」、「環境税」を取り上げた。担当者の発表の後、ディスカッションで理解を深めていく形式で学んでいる。また、国際情勢に関する記事について発表を行う「ニュースレポート」の取り組みも毎週行っている。卒業論文の研究は3年生から始める。

―ゼミの雰囲気は

様々な趣味を持った明るい学生が多い。研究はメリハリをつけて行っているが、教授が優しく解説が分かりやすいため、楽しい時間を過ごすことができる。私自身公開ゼミの時に中川ゼミの雰囲気に惹かれて、それらがゼミ選択のきっかけにもなった。

―ゼミ選択の際に気を付けたことは

学生生活の中で自分がゼミにどのくらい重点を置くか考えること。私はサークル活動も大切にしたかったため、その点を考慮した。また私はコミュニケーション学科で経済の知識はほぼ無かったので、自分の好きなことが学べるということを重視して選択した。

―どのような学生にこのゼミに入ってほしいか

本ゼミの良いところは学生の仲の良さ。今後も自分の意見をきちんと言える人や明るい人にこのゼミに入って欲しいと思っている。

国際政治経済学部 内田達也 教授

内田達也教授のゼミでは、『社会・組織・私の問題』の経済分析」というテーマで研究を行っている。社会や組織、私の問題は必ず互いに接点を持ち、『国際問題』などの過が違うのことに思われる問題が、実は自分たちとは近い問題なのだとする教授は考える。現在所属している学生は15人と少人数だが、積極的に研究を行っている。

授業前半は個人論文のため各自が行っている研究をプレゼンし、議論する。

論文のテーマは、『福袋の経済学』から『なぜフィンランドは外国人にまで無料で教育を提供するのか』までと多岐に渡る。各自が興味を持ったテーマに対し、経済学的にアプローチする。

授業後半は全体プロジェクトを進める。このプロジェクトではゼミ生が選んだ二つの社会課題に対して、経済学的な面とデザイン的な面から分析・解決していく。本ゼミでは学生主体のグループ・ユニットで活動することを重視している。

求める学生像について内田教授は「人と違うことをやりたい人に来てもらいたい。チームで活動していくので色々な人にいてほしいと語る。また、『学生のうちに何かを達成してほしいと考えているので、それに対して意欲のある人に来てもらいたい」と続けた。

内田教授は「大学時代に、しっかり自分の研究をしてほしい」と言う。やりたいことは沢山あるだろうが、ゼミのように皆で協力し研究する経験は特に貴重なものとなるだろう。

国際政治経済学部 小島ゼミ 高瀬晴太 ゼミ長

「環境政策」などを中心に学ぶ国際政治経済学部、小島敏郎教授のゼミ生たち。今回はそのゼミ長、高瀬晴太君（国4）に話を伺った。

―ゼミでの勉強内容は

「エネルギー政策から考える日本の社会構造の問題点」をテーマに学んでいる。しかし、広く問題意識を持つべく、このテーマだけに囚われることなく、様々なジャンルの本を読み込む。また、雑談や教授からの話を交えながらプレゼンテーション進めるため、淡々とした授業ではない。さらに、座学だけでなく、環境関連のイベントの企画・運営など課外活動も積極的に行っている。

―ゼミ生から見た教授は

一見するだけでは優しそうなお方という印象かもしれない。だが実はとてもエネルギッシュ。

―いつから環境政策に興味を持ち始めたのか

私たちの大学受験時は、丁度、世論が原発の賛否で真っ二つに割れている時期だった。それがきっかけで関心を持つようになった。

―ゼミ生に求められるは

教授はよく「本当にそうなのか」と一度立ち止まって見つめ直すことが大切だと話している。また、真に本を読み込んでいくトレーニングを行う。従ってゼミではそのような力を高めていくことが求められる。

―ゼミに参加して身に付いたことは

2つの力を鍛えることができたと思っている。それは日本の電力業界に関係する様々な事情や仕組みなどのハード力と、「一度疑ってみる力」「読書力」などのソフト力。自分の興味があるゼミや学ぶから、こそ付いた力かもしれない。

法学部 住吉雅美 教授

住吉雅美教授のゼミは、『タブーに挑む法哲学』をテーマとしている。日常や社会などでタブー視されていることについて、様々な視点から議論、考察することが活動の軸となる。開講日時は金曜日2・3限。3・4年生合同で、昼休みを挟みながら、和やかな雰囲気で活動している。現在3・4年生合わせて22人所属しており、毎年10人程度募集している。



毎回1人の学生が、どのテーマについて議論するか決める。テーマは「法に従う道徳的義務はあるのか」「政治に嘘は不可欠なのか」など多種多様だ。ゼミでは、その学生が報告者となり、その学生の意見を取り入れながら議論する中で各人の持つ考えを共有し、他人の意見を受け入れる。これが新たな物の見方や、互いの理解を深めてゆく。この議論の仕方を住吉教授は『知の闇鍋』を作ることだと表現する。議論した結果、毎回様々な結果に辿り着くという。

住吉ゼミの目標は自分の視座を見つけ、作ることだ。多数意見に流されず様々なことに疑問を持ち、自分の目で批判的に物事を見ることで、社会の中で触角を働かせる力がつくそうだ。また住吉教授は求める学生像を「多様な意見を受け入れ、法哲学を純粋に楽しみたい学生」と語る。さらに「就職の有利さを目的とする学生には向いていない」と続けた。自ら積極的に『知の闇鍋』を作りたい学生には、向いているのではないだろうか。

経営学部 高松朋史 准教授

高松朋史准教授のゼミでは、『現代企業マネジメント問題研究』をテーマとしている。人の興味を引くような世の中の出来事を入り口にして、企業戦略について考えていくことがこのゼミの特徴だ。

前期では、まず班ごとに分かれて興味のあるニュースを選び議論を行う。何が原因で現在どんなことが起きているのか、そしてそれは企業にどのような影響を与えるのかを追及する。一見企業にはあまり関係のなさそうなニュースでも、影響を及ぼしていることがあるという。また、ビジネス雑誌記事を用いたグループディスカッションや企業に関連する書籍に基づく個人プレゼンテーションを行い、その内容に対し自分はどう思うのか意見を交わし合うことに取り組む。

前期はその他に、他大学との合同ゼミを行っている。知らない人と交流するコミュニケーション能力を養うには絶好の機会だ。

後期は企業の方を招いたり、会社を実際に訪れたりして計5回ほどのプレゼンテーションを行い、最終的に企業の方に評価をしてもらうイベントがある。毎回20人程、先輩後輩も仲が良く、明るい雰囲気だという。

履修時期や選考方法は企業説明会や選考スケジュールが異なるので、しっかり確認をしましょう！（右参照）

経済学部 永山のどか 准教授

永山のどか准教授のゼミのテーマは西洋経済史だ。相対的で多様な意見を取り入れられるため、経済史の本を二冊使い、毎年交互に入れ変えペアで作ったレポートを発表させている。狙いは文章力と情報収集力の向上、そして論点を見極めることだ。さらに読書の習慣をつけるため、授業の最初に課題で読んだ本から小テストを出している。

永山准教授は工業化やそれに付随する社会問題は歴史的に見て西洋の方が日本より早く生じたと考える。そこで日本の問題と比較しながら、これを分析し、発生の原因や解決方法を模索している。これらの力も学生に身につけてほしいと准教授は熱弁する。

また本ゼミは学生が主体となり催し物を企画する。夏合宿では行き先を経済史に結びつけたテーマで発表を行うなど、行く場所に関しても深く知ることができるようになっている。

さらに、本ゼミでは3年から卒業論文の準備を始めるなど、卒業論文にも力を入れている。これまでの卒業論は西洋の国をテーマとしているが、中にはテーマパークをメインとした学生もいたようだ。本ゼミでは、西洋と結びつけながら経済史の論点と自分の考えが繋がるならテーマは自由である。

永山准教授は「当ゼミでは、地方出身者や大学院を目指す人など様々な人を歓迎する。また資料や統計などの分析をするので、物事を思慮深く考え発言する力が養えるのでは」と語る。ゼミ活動を通し、様々な力を培えるようだ。准教授が事故するドイツや歴史に興味がある学生には検討してほしい。

青山キャンパスのゼミの仕組み

この時期になると大学生がそろそろ考えなくてはならないことがある。選択通称ゼミ）についてだ。今回は青山キャンパス所属学部のゼミについて学科別に選考方法、選考時期、履修時期を調査した。

まず文学部英米文学科は、志望理由のみで選考するゼミが多いが、一部面接が課されるゼミもあるという。選考時期は2・3年次の冬で、履修時期は3・4年次だ。次にフランス文学科は、1・2・3年次の冬の予備登録期間に第3希望までの志望理由を提出する。2年生のゼミは2年生のみで構成されているのに対し、3・4年生は合同でゼミを行うという。そして日本文学科は、1・2年の3月に第3希望までのゼミと志望理由を提出する。履修時期は2・3年次で、合同でゼミを行う。続いて史学科の場合は、1年次の冬に4つのコースに分かれる。2年次になると各コース内の冬で、履修時期は3・4年次だ。次にフランス文学科は、1・2・3年次の冬の予備登録期間に第3希望までの志望理由を提出する。2年生のゼミは2年生のみで構成されているのに対し、3・4年生は合同でゼミを行うという。そして日本文学科は、1・2年の3月に第3希望までのゼミと志望理由を提出する。履修時期は2・3年次で、合同でゼミを行う。続いて史学科の場合は、1年次の冬に4つのコースに分かれる。2年次になると各コース内の冬で、履修時期は3・4年次だ。次に心理学科は、2年生の冬に自分が研究したいテーマや具体的な内容と、第8希望までのゼミを提出する。履修時期は3・4年次だ。

最後に総合文化政策学部の総合文化政策学科のゼミは、2年次必修の「文化基礎演習」と3年次の「卒業演習」から構成されている。また、それとは別の「ラボ」という授業が展開されていることは、総合文化政策学部の特色となっている。

相模原キャンパスのゼミの仕組み

キャンパスや学部によって履修時期や選考方法は様々である。ここでは相模原キャンパスの3つの学部のゼミについて紹介する。

理工学部は学科によって履修時期が異なる。科学・生命科学科、機械創造工学科、経営システム工学科、情報テクノロジー学科は3・4年次だが、物理・数理学科、電気電子工学科は4年次に履修することになっている。選考方法も実力テストや学年末テスト、GPAや担当教授の授業成績など、学科やゼミによって大きく変わってくる。

また社会情報学部のゼミは3・4年次に履修する。昨年は面接による選考が多かったようだ。

地球社会共生学部の選考方法はレポートで、2年生の6月半ばに選考が行われる。履修時期は3・4年次であり、留学が必須な関係上他の学部に比べて選考時期と履修時期の間隔が長いことにも注意が必要だ。2015年4月に開設したこの学部は2017年度からゼミが新設される。活動内容などは今後の動向に注目したいところである。

ゼミによっては、説明会や見学会への参加が必須ところや、担当教授のプレゼンテーションを行い、最終的に企業の方に評価をしてもらうイベントがある。毎回20人程、先輩後輩も仲が良く、明るい雰囲気だという。

履修時期や選考方法は企業説明会や選考スケジュールが異なるので、しっかり確認をしましょう！（右参照）

《経済学部 2016年度演習募集人数・最終合格者数一覧 》

経済学科
「演習」

教員名	募集人数	最終合格者数（一次＋二次＋三次）
落合 功	15	23
小須 敬之	20	30
金田 由紀子	約10	14
後藤 文隆	約10	8
白井 邦彦	約20	15
芹田 敏夫	12	12
高嶋 修一	12	9
中込 正樹	12	15
中村 隆之	12	11
中村 まづる	約10	10
馬場 弓子	約12	17
平出 尚道	12	5
堀 真理子	12	12
本郷 亮	約12	11
松尾 孝一	約10	5
松木 茂	12	12
Menish, Marc	若干名	9
矢吹 初	13	7
伊藤 嘉里	12	11
高 惠芳	12	15
永山 のどか	13	14
水上 英資	12	2
宮城 島 要	12	3
元山 斉	12	11
安井 健悟	12	12
吉田 健三	10	4

現代経済デザイン学科
「基礎演習」

教員名	募集人数	最終合格者数（一次＋二次）
高橋 重城	12～15	25
高橋 朋一	12	15
中川 辰洋	10	2
西川 雅史	12	15
藤村 学	12	12
堀場 勇夫	12	11
室原 晴一	12	14
吉岡 祐次	12	8

《法学・政治学演習Ⅰ》

演習テーマ	募集人数	申込者数（一次＋二次＋三次）	合格者数（一次＋二次＋三次）
自己決定の法的・全分野から学生が自由に選ぶ	15名	15	15
刑事法を通じて人間と社会を考える	15名程度	6	6
国際刑事法	15名程度	22	16
国際関係法（民事法分野）の基本問題	12名程度	22	14
会社法	10名	19	19
「表現の自由」論―メディアの法と倫理	10～15名	23	13
基礎能力を鍛養するためのトレーニング	10名	0	0
独占禁止法（経済憲法）と競争政策	12名程度	15	14
知財の実践的把握と法務課題	15名	18	18
租税法の基本判例を読む	20名	25	20
生と法律学	約10名	5	5
民法・消費者法の重要判例の研究	12名	28	18
最近の刑事立法を研究して刑事法全体のオールラウンドプレーヤーに	12名	26	14
医療と法を考える―医療にとっての法の役割	12名	23	19
国際人権法を国内でどう活かすか	15名程度	23	16
ダブーに挑む法哲学	10名	15	12
財産法の理解を深める	約10名	15	14
公共政策としての医療	6名	8	5
日本における人権問題	12名	14	11
会社法の基礎理論	16名	22	14
民事訴訟法（判決手続）の基礎と応用	約20名	13	8
民法と人間行動の基礎的研究	12名	16	14
模擬裁判形式で行政法を学ぶ	10名	21	13
日米著作権法の現代的問題点	10名	10	10
社会科学的思考の涵養の重要―社会事象と「その背景の論理」、政治における物理的法則の探求―	約10名	21	10
財政法の比較法的考察	8名	6	3
日本の税金無料化（税制改革）の焦点	15名	26	25
民事訴訟法（判決手続）	12名	25	14
「政治」って何だろう―社会の中で人間が共同して生きるとは？	7～8名	9	6
会社法	12名	14	13
環境政策と環境法	12名	31	15
労働法における理論的・政策的課題を考える	13名	26	18
計		484	354

《数量演習Ⅰ》

担当者名	募集人数	申込者数（一次＋二次＋三次）	合格者数（一次＋二次＋三次）
人権問題を英語で研究・議論すること／Researching and Discussing Human Rights Issues in English	10名	4	3
Language and politics（言語と政治）	10名	1	1
社会と言語	約10名	3	3
ARTS & ARTISTS	10名	13	13
計		21	20
	総計	505	378

2017年度 演習選考スケジュール

学部	学科	オリエンテーション	一次申込期間	二次申込期間
経営		9月17日（土） 教職棟 1号館 オリエンテーション：13時20分～ 教室：940番台	学生ポータル： 9/28（水）9時～9/29（木）19時 レポート提出： 9/26（月）9時～9/30（金）19時	学生ポータル： 11/2（水）9時～11/3（木）19時 レポート提出： 11/2（水）9時～11/4（金）19時 経営学部は第三次募集まで実施します。 募集期間については、「AGU SEMINAR GUIDE」を参照してください。
法		9月24日（土） 教職棟：13号～ オリエンテーション：13時10分～ 教室：1763講堂	学生ポータル： 10/5（土）9時～10/11（水）17時 レポート提出： 10/5（土）9時～11時30分 10/11（火）9時～10/12（木）19時	学生ポータル： 11/24（月）9時～11/15（火）17時 レポート提出： 11/24（月）9時～11/26（木）19時
経済	現デ	10月1日（土） オリエンテーション：13時～ 「学部紹介プレゼンテーション」：13時30分～ 教室：922番台	学生ポータル： 10/17（月）9時～10/18（火）17時 レポート提出： 10/17（月）9時～10/19（水）19時	学生ポータル： 11/28（月）9時～11/29（火）17時 レポート提出： 11/28（月）9時～11/30（水）19時
	経済	10月1日（土） オリエンテーション：13時～ 教室：940番台		
国際		10月15日（土） 教職棟：13号～ オリエンテーション：13時10分～ 教室：1763講堂	学生ポータル： 11/2（水）9時～11/3（木）17時 レポート提出： 11/2（水）9時～11/4（金）19時	学生ポータル： 11/28（月）9時～11/29（火）17時 レポート提出： 11/28（月）9時～11/30（水）19時

※レポート提出：教務課窓口取扱い時間厳守（9：00～11：30、12：30～19：00）のこと。

学部によって、選考スケジュールが異なるので、しっかり確認をしましょう！（右参照）

就職ガイダンス

2018年3月卒業予定者（学部3年生、修士・専門職1年生）対象

※詳細は学生ポータルよりお知らせします。

青山キャンパス

【日程】
9月26日（月）18:45～20:15
9月27日（火）18:45～20:15
9月28日（水）13:20～14:50
9月29日（木）18:45～20:15
9月30日（金）16:50～18:20
9月30日（金）18:45～20:15
※いずれか都合の良い日程に1回参加してください。

【内容】
今やる！ 就活準備
採用選考のプロセスと対策
4年生内定者による就職活動体験談
「就職ハンドブック」等、重要書類の配布

【会場】
青山キャンパス　17610教室

【主催】
青山キャンパス　進路・就職センター

相模原キャンパス

【日程】
○理工学部・理工学研究科
9月26日（月）18：30～20：00
9月28日（水）15：00～16：30
9月28日（水）18：30～20：00
※上記3日程より選択して出席してください。

○社会情報学部・社会情報学研究科
9月29日（木）18：30～20：00
※指定日時に都合がつかない場合は、他学部の日程に出席してください。

【内容】
就職活動の流れ、ポイント
大学支援の利用方法
進路決定の考え方等の講演
「就職ハンドブック」等重要書類の配布

【会場】
相模原キャンパス　E棟教室

【主催】
相模原キャンパス　進路・就職課